

行く際は、東京北郵便局といつても大きな施設があり、子供に限らず対応いただけたことがあります。新年度、2町1村観光連絡協議会の事務局は小川町になりますので、主体的に取り組みます。

里山・平地林の再生

Q 事業の詳細は。

A 彩の国緑の基金を活用し、放置された侵入竹や不用木の伐採等をします。景観の向上と森林機能回復を目的とし、整備後の適正管理や転用制限等、所有者との協定を結びます。平成31年度まで行う事業で、新年度は16ヘクタールを予定しています。

3紙の連携が力ギ 和紙サミットの開催

Q 3紙（細川紙・本美濃紙・石州半紙）による第2回和紙サミット。今回は当町・東秩父村が開催地となるが、受け入れ等の準備は。

A 本年7月1・2日¹に開催します。3紙の連携事業として、ユネスコ和紙の「ワカツメ化・販路の開拓と拡大・新商品の開発等を話し合う予定です。また、住民を対象に和紙を使ったアート展や講演会等のイベントも予定しています。

Q 小川和紙の生業支援 なりわい

A 今後の展開・課題等は。現在6人が後継者育成事業として、3年間をかけて研修プログラムを受けています。修了後、関連先で携われるよう工夫が必要と考えています。また、楮の生産や「楮引き」の効率化等に取り組みます。

Q 元気な農業応援補助

A どのような補助で農業を元気にするのか。



昨年度、「石州半紙」のふるさと島根県浜田市で開催された第1回和紙サミットの様子。第2回となる今年度は、来る7月1日・2日に「細川紙」のふるさと小川町・東秩父村での開催となります。「本美濃紙」のふるさと岐阜県美濃市の関係者を含めた多くの来訪者を「お・も・て・な・し」の心で迎えたいものです。

空き店舗活用補助金

A 補助の対象等、詳細は。区域を駅周辺の空き店舗に限り、小売・飲食・サービス業を対象とする予定です。2年以上の営業を条件とし、改修費や家賃補助⁴を行います。



Q 町内居住者からの問い合わせもあるようだが、実績等は。A 昨年6月の開設以来、50件以上の問い合わせを受け、I（アイ）ターン⁵等6件が成立しました。今後は窓口での対応にじっくり、各種イベント等でPRしていく必要があると考えています。

A 研修生を受け入れた農家にテーシヨン³に取り組む営農団体に対し1反当たり5000円、境保全型農業でブロックロー

テー³に取り組む営農団体に対し1人につき年額3万円、環境保全型農業でブロックロー

Q 対象となる野菜は。また、じんな展開が。A 町内産の野菜すべてを対象としたブランド化を推進します。また、商標登録に向けた取り組みと、ポスターやチラシを作成しPR活動に努めます。

町民力イ館耐震改修

Q コミュニティ棟に限った耐震を考えているようだが。

A 町の考え方として、コムニティ棟は耐震改修を行ないながら運用していくことが決定していますが、大ホールについてはまだ方向性が出ていません。現時点では必要最低限の対応として、空調設備の修繕を考えています。

A 中央公民館の機能が順次、町民会館へ移る⁶ことになるようですが、住民に対する丁寧な説明や進め方は。

A 移行時期は、特に年度はじめの4月1日にこだわるつもりはありません。例えば、8月や10月等、利用者の混亂がないタイミングで中央公民館を閉館します。また、機能の移転や住み分け等の詳細は決まっています。それが、それらに取り組むため、両施設を同一の課（生涯学習課）

Q 移住サポートセンター

A 昨年6月の開設以来、50件以上の問い合わせを受け、I（アイ）ターン⁵等6件が成立しました。今後は窓口での対応にじっくり、各種イベント等でPRしていく必要があると考えています。

Q コミュニティ棟に限った耐震を考えているようだが。

A 町の考え方として、コムニティ棟は耐震改修を行ないながら運用していくことが決定していますが、大ホールについてはまだ方向性が出ていません。現時点では必要最低限の対応として、空調設備の修繕を考えています。

A 中央公民館の機能が順次、町民会館へ移る⁶ことになるようですが、住民に対する丁寧な説明や進め方は。

A 移行時期は、特に年度はじめの4月1日にこだわるつもりはありません。例えば、8月や10月等、利用者の混亂がないタイミングで中央公民館を閉館します。また、機能の移転や住み分け等の詳細は決まっています。それが、それらに取り組むため、両施設を同一の課（生涯学習課）

Q 防災・減災の取り組み

A 災害に備え、資機材（発電機・炊き出し用具）の購入を考えていました。また、行政区への防災組織（行政区）に対する資機材の整備補助など、災害対策事業に期待するが。

Q 災害用資機材の購入や自主防災組織（行政区）に対する資機材の整備補助など、災害対策事業に期待するが。

A 災害に備え、資機材（発電機・炊き出し用具）の購入を考えていました。また、行政区への防災組織（行政区）に対する資機材の整備補助など、災害対策事業に期待するが。

A 消防団のトランシーバー購入は要望がありました。また、これにより何が変わることか。

Q 現在23台が配備されています。これにより、現場での各団の連絡が図られ、よりよい活動ができると考えます。

Q 現在23台が配備されています。これにより、現場での各団の連絡が図られ、よりよい活動ができると考えます。

A 現在23台が配備されています。これにより、現場での各団の連絡が図られ、よりよい活動ができると考えます。

A 改修費…補助率2分の1で上限は50万円。町内施工業者によるものとします。

Q 家賃補助…補助率2分の1で上限は月額2万5000円。

Q 改修費…補助率2分の1で上限は50万円。町内施工業者によるものとします。

Q 家賃補助…補助率2分の1で上限は月額2万5000円。

✓解説 町民会館へ移る⁶

平成30年度内を目指としています。

✓解説 Iターン⁵

都市部出身者が地方に移り定住すること。

✓解説 改修費や家賃補助⁴

改修費…補助率2分の1で上限は50万円。
町内施工業者によるものとします。
家賃補助…補助率2分の1で上限は月額2万5000円。